

## 「県民と県議会との意見交換会」 盛岡会場 の概要

〔日 時〕 平成29年4月25日（火）18：30～20：30  
〔場 所〕 岩手県議会 議会棟1階 大会議室  
〔テーマ〕 若者がやりがいを持って働くことのできる雇用環境の整備について  
〔参加者〕 （7名）

佐々木 美 波（こずかた法律事務所）  
高 橋 久 祐（盛岡広域森林組合）  
鎌 滝 千 尋（株式会社ベアレン醸造所）  
岡 本 亜 希（特別養護老人ホーム コアトレース厨川）  
高 杉 望 （株式会社ホテルアンドリゾート）  
豊間根 鮎 美（株式会社川徳）  
皆 川 梓 （いわて生活協同組合）

〔出席議員〕 （8名）  
佐々木宣和議員、高橋元議員、高橋但馬議員、阿部盛重議員、樋下正信議員、  
ハクセル美穂子議員、田村勝則議員、吉田敬子議員  
〔事務局職員〕（9名）

### ◆ 参加者自己紹介及び現在の業務や活動状況の紹介

#### ○佐々木さん

勤務先はこずかた法律事務所であり、弁護士に付いて法律事務を行っている。基本的には、裁判所に書類を出しに行ったり、検察庁で記録のコピーを取ったりという作業である。

この意見交換会には、盛岡市中央通勤労青少年ホームの「利用者会」（利用している方で作る自治会のようなもの）において、今年度の会長を担っていることから、参加の依頼をいただいた。

プライベートでは、アカペラサークル「Vocco（ヴォッコ）」に入っており、県立美術館等からの依頼で障がい者大会のイベント等のオープニングで歌わせていただいたりしている。

#### ○高橋さん

私は、約4年間、林業の現場でチェーンソーや重機を使った作業をしていたが、5年目に外山森林公園から是非やらないかとのオファーを受け、それ以来約14年間異動はなく、現在も外山森林公園に勤務している。

毎日、紫波町から片道で約45キロを通勤しており、冬には運転に約2時間もかかるが、運転中紫波から盛岡までの森林資源を眺めながら、林業はこうしていったらいいのではないかというような思いを膨らませて業務にあたっている。

業務は森林公園の運営がメインであり、盛岡市の指定管理という形で業務を受けている。平成18年に指定管理制度になってからは、ほぼ私が一人で担っている状況である。

趣味はきのこだが、ここできのこの話をすると時間が足りなくなるので話は控えさせてもらうが、毎週月曜日の11時30分前後にラジオもりおかのお昼の番組で、10分枠だが外山森林公園のPRコーナーをいただいております、私がきのこの話をしているので、よければ是非聞いてほしい。

#### ○鎌滝さん

株式会社ベアレン醸造所に勤務しており、弊社には営業も飲食店の業務もあるが、私は製造チームで仕事をしている。ビールをつくり、瓶詰をして出荷できる状態にするまでが製造の仕事である。

### ○岡本さん

特別養護老人ホーム「コアトレース厨川」でユニットサブリーダーをしている。普段の業務は、高齢者の日常介護や話し相手などのほか、介護福祉士を目指している学生や新人職員の育成をしている。

### ○高杉さん

株式会社岩手ホテルアンドリゾートに入社し、今年で4年目になる。入社して3年間はウェディング企画課に配属になり、主に未婚の方々へのブライダルフェアの企画運営や、広告等を担当していた。

今年の4月から異動となり、ウェディングプランナーとして、結婚を考えている方のウェディングのプランを立てたり、お話をしたり、グランドホテルでの結婚式の良さを伝える仕事を勉強しながら頑張っている。

### ○豊間根さん

株式会社川徳でリビング用品の販売を行っている。和洋食器、キッチン用品、家電のショップの担当である。これからは母の日ギフトで繁忙期になるが、ギフトに関して勉強し、これからも皆様のお買い物相談にお役に立てるよう頑張っている。

### ○皆川さん

震災の時に入社し、内定が取り消されるのではないかという不安の中で就職した。それが今では6～7年前のこととなり、ここまで振り返らずにやってきたなと感じるし、後輩がどんどん入っているのが焦りも感じている。

いわて生活協同組合で配達を担当しており、トラックで一時間かけて山の方まで行って配達し、その中で買い物に困っている方の意見を聞くことも多い。昨年からは、共同購入の企画課でチラシの作成に携わっている。小さなお子さんがいるお母さんや、買い物が大変と感じるご高齢の方が見るチラシを作成しているのでも、少しでも見やすくしたいという意識を持って作成している。

## ◆ 意見交換

### ○樋下正信議員

今日のテーマは雇用環境の整備だが、その前に、結婚に対して、若い方がどのような考えを持っているのかお聞きしたい。

私は、高校と大学を卒業して仕事に就いたが、妻に昼の弁当を作ってもらい職場に持って行っていた。それが仕事のやりがいに繋がるといえるか、まずは、結婚して子どもができて、家庭があって、仕事にも意欲が出てくるのではないかと感じている。若い方の中にもそう思う人もいないかと思うが、一方で、独身の方を見ると結婚願望が無いのかなとも思う。特にブライダル業務に携わっている高杉さんにお聞きしたいが、今の若者はどう感じているのか教えてほしい。

#### 〔回答：高杉さん〕

グランドホテルも、岩手ホテルアンドリゾート自体も若い社員が多い。結婚している人は少ないと思う。私は、仕事をすることにやりがいを感じているので、どちらかというと、プライベート

トの部分の切り捨てでも仕事をしたいと思うタイプである。仕事をして、お客様から「ありがとう。」「これで良かったよ。」という声を頂くことがやりがいになっているので、プライベートについては充実してないのかもしれないと思う。

私の周りの若い方も独身が多いので、私と同じように、仕事にのめり込むほど夢中になって、やりがいをもって仕事に取り組んでいる人が多いのかなと思っている。

### ○樋下正信議員

若い時は仕事がおもしろくて、仕事にのめり込むことも良いことだと思うし、もちろん仕事にいきがいを感じることも大切だが、これから年を重ねるにつれて、ふと、あれっと思うこともあるかもしれない。皆さんはまだ若いですが、家庭に生きがいを持つということも必要ではないだろうか。

### ○高橋元議員

同一労働同一賃金や長時間労働が社会的に問題視されているが、そのことについて、皆さんは自分の職場で何か感じたことはあるか。例えば、仕事の時間が長いだとか、一生懸命働いているけれども女性と男性とでは給料に差があるなど思ったことはないか。また、そういう思いをしたことはあるか。女性に対しては同一労働同一賃金、男性に対しては長時間労働についてお聞きしたい。

#### 〔回答：皆川さん〕

他の方の給与明細を見たことは無いが、いわて生協には正規職員が349名おり、全体では2,011名いるので、正規職員を除くと他は非正規又はエリア正規というくくりになる。

ただ、現場では、朝配達に行き帰って来るといった仕事の内容は、ほとんど一緒である。入社した当初は、非正規の方に「正規の人は良いよね。」といったようなことや「俺たちだって同じ仕事内容なのに。」と言われたこともあったが、そのような時は、何と返答して良いかわからず、ニコニコするしかなかった。それから年数も経ったが、そういうことがこの先もずっと続いていくというのは、何か違うなど感じる。

### ○高橋元議員

結婚、出産、育児をした正規職員の方が、育児をしながら仕事ができれば良いが、少し休んだら非正規職員にさせられたという例はあるか。

#### 〔回答：皆川さん〕

今一緒に働いている方は、二人のお子さんがおり、育休を終えて、また同じ所属に復帰している。いわて生協は、女性目線、特に買い物をするお母さんの目線に気を配っているため、自分たちの職場が育児に配慮していませんとはいえない。そういった面では、正規職員については、働くお母さんへのサポートがある。

### ○高橋元議員

介護の現場の労働時間についてはどうか。

#### 〔回答：岡本さん〕

長時間というわけではないが、決められた時間に利用者さんの身体介護をし、その他に洗濯物を畳む、洗う、食器を片づけるといった雑務がある。雑務より利用者の介護をメインに活動しているので、どうしても勤務時間内に終わらない部分が出てくる。その場合は、勤務時間の

後に、残業をしていることが多々ある。

**〔回答：高橋さん〕**

森林組合は、作業班と事務職と製材工場と森林公園とでは、労働時間も休みの取り方も違う。ここ2～3年で内部規格ができたが、それまでは、ほとんど上司から言われるとおりにしていた。ただコンプライアンスや場内検査での指摘もあり、今は契約書のようなものに基づき、その時間内でやるということになっている。去年の春まではタイムカードで出勤をつけていたが、合併に伴い、合併先の組合が判子出勤であるため、遅く行っても早く行っても判子なので、午前、午後しか欄がない。何時間働いても午前、午後というくくりになるので、正直これでいいのかなという思いはある。

外山森林公園業務としては、まず朝に東部事務所に行って、市役所から届く資料とメールをチェックしてから公園に行く。蕎麦屋もやっており、製粉も私が担当している。製粉して食堂に今日の杯数を伝え、売って頂く。たれの味も毎日見ている。例えば、学校のイベントに半日お付き合いしなくてはいけないことも多々あり、そうすると日中にやらなくてはいけない業務が残ってしまい、夜遅くまで次の日分の製粉をするということもある。上司の許可を得れば残業手当が付くが、毎日お蕎麦の為と言っていると人件費が加算され、蕎麦の単価があがってしまうので、上司からは、できるだけ他の業務を断って蕎麦に専念するように言われている。

7月、8月はほぼ外山森林公園にいる。キャンプシーズンだと泊まる当番があり、業務が泊まりの前後にあたりすると、数年前だが、長い時には一週間キャンプ生活をしたこともある。正直にいうと、外山に家があったほうが良いのかと思うこともある。遅い時には午後11時に帰宅する。朝は、イベントが多くあると、午前7時には出社することもある。

実際、全ての業務をやるとなると、今の体制では厳しいと考えている。息子の学校行事等で本当は休まなくてはいけないときも、外山の方を優先してしまうので、いつも申し訳ないと思いながら暮らしているというのが実状である。

**〔回答：鎌滝さん〕**

営業は、遠方のビール祭り等に出店すると帰りが遅くなることがある。製造は、ビールには酵母が入っているため、発酵の具合で急に作業が入って帰りが遅くなることもある。でも、みんなビールが大好きで弊社に入社している。私も、私が入社した年は求人が無かったが、どうしても入りたかったので会社に電話して入社した。ビールが好きでみんな仕事をしているので、労働時間が長くなっても、弊社の場合は社員の不満は無いと思う。

**○高橋但馬議員**

先ほど、高杉さんもお話ししていたが、プライベートな時間に仕事が入っても、仕事が楽しいから構わないという声も聞くが、事情を聞いてみると、どうしても帰る時間が遅くなってしまいう部分があると思う。私も昔、民間で働き、残業もしていた。当時は、残業をして当たり前かなという考えがあった。しかし、それが上司からの命令などの形で、そういうのが当たり前でしょと第三者に対して言った瞬間に、大変な問題になると思う。

仕事に対して高いモチベーションを持つことは大切だと思うが、どこかで割り切るところを設ける必要がある。そのように割り切るために、皆さんは、例えばどのような方法があると思うか。

また、最近の新入社員からはプライベートを充実させたいという話も聞こえてくるが、皆さんの周りの新入社員や岩手の企業ではどのような状況なのか。皆さんが後輩と話をする中で、土日はしっかり休みをとって子どもたちと遊びたいといったような話が聞こえることはないか。

**〔回答：豊間根さん〕**

私自身を含めて、周囲の若手社員の業態は、休みは土日では無い。例えば、誰か友達と遊びに行きたいと思っても、土日休みの友達とは予定が合わなかったということもある。結局、同じような業態の人達と遊びに行くので、偏りがでてきたりする。ちょっとなという話が聞こえてくることもあるが、休みはしっかりいただいている。例えば、お子さんがいるママさん等は土日休みよりも平日休みの方が行事に出やすいといった場合もあるし、逆に、平日休みだとPTAの活動に行けないといったこともある。休みの希望が重なることや、繁忙期は休めないといったことも時々目にするので、そういったところでのすり合わせの難しさ等はあると思う。

**〔回答：佐々木さん〕**

基本的に、決まった時間に業務が終わることが多いが、その時々依頼内容によって、量が多い場合には残業することもある。あまり長い時間残業していると、上司からもう帰っていいよと言われることがある。

仕事内容としても、労働者側に立って助ける場合が多いので、長く働き過ぎないようにとの上司の配慮もあり、プライベートもある程度充実させて頂いている。

**○ハクセル美穂子議員**

皆さんに、それぞれお聞きしたい。

同じ学校の方で東京又は首都圏に就職された方もいたと思うが、一般的に東京で就職した方が給料が高い中で、皆さんが岩手に残って、今の就職先を選んだ理由の第一条件を聞きたい。

また、働いていて良かったと感じることと、岩手で働いていて都会で働いている人が羨ましいと感じる点、例えば、この点については都会で働いている友達が羨ましいなと感じるといったことについてお聞きしたい。

**〔回答：皆川さん〕**

高校時代はずっと寮生活だったので、親元を離れて楽しいと思ってしまった。何も考えもせずに、仙台の大学に進学した。行ってみると、多くの場面で岩手と仙台を比較しており、結果的にやっぱり岩手が良いなと思った。例えば四季でいうと、仙台には雪が降らないので遊べないなと思ったりした。ふっと、岩手に帰ろうと思った。

でも、SNSで、都会にいる友達がアフター5にどこに行きましたというのを見てしまうと、正直いいなと思う。ただ、都会から帰ってきた友達からは、都会には住まない方が良く。都会は楽しいけど、通勤ラッシュ等を考えると、岩手の方が良いと言われるので、いろいろな話を聞いて揺れ動いている。

私は、人と携わる仕事が多い中で岩手の人は良い人だなと思うことがいろいろあるので、その点で岩手に凄く満足している。

**〔回答：豊間根さん〕**

出身が山田町で、青森の大学に進学したが、私は一人っ子なので、両親の面倒等を考えると、将来的に岩手に戻ってきた方が良くないなと思っていたこともあり、岩手に戻ってきた。地域とかは特に考えずに就職活動をしていた時に、震災が起きた。社員の募集をかけていた企業が募集を止めてしまったこともあり、結果的に盛岡で働くことになった。

岩手で働くことで、近くに家族がいるという安心感もあるし、生まれ育った土地なので、岩手で働けて良かったと思う。

就職で東京や関東に行った友人が多いが、羨ましいなと感じたことは、先ほど皆川さんがおっ

しゃつたとおりに、東京ではイベントも多く、仕事が終わった後の充実感がこちらからは違って見えることも時々ある。私も、住むところでは無いよと言われるが、実際に戻ってきた友人はいないので、本当にそうなのかなと疑問に思う。学生の頃は、東京に行ってみたくらいという憧れも若干あり、そうした意味でも、一回は行ってみたいかと思うこともある。でも、出張等で東京に行くこともあり、都会での働き方等も多少垣間見えることもあるが、そういうところを見ると、たまに遊びに行く程度で良いのかなと思うこともある。

仕事が接客業なので、お客様の地域性なのか、岩手の方は優しく、朗らかな人が多いので、岩手で働いていて良かったと思う。

#### 【回答：高杉さん】

岩手に残ろうと思った理由は、私は、小、中、高、短大と岩手で過ごしたが、祖父が東京に住んでいて小さい頃から行っていたこともあり、都会が良いと思うような、都会に対する憧れは無かった。また、実家と親とあまり離れたくなく、家が落ち着くので好きだったことが理由である。

今の会社に入社を決めた理由は、一番には憧れがあったことが大きかった。結婚式をやることへの憧れが心の奥底にあって、短大の時にホテルのレストランでアルバイトをした時に、この会社の人達は話しやすく、働きやすそうだなと思って入社に至った。お客様とのやり取りがとても楽しかったり、うれしいお声を頂いた時にやりがいを感じると、今の会社で良かったと思う。

都会で働いている友人が羨ましかったことは、プライベートの過ごし方というか、お店が多いので渋谷や原宿に行ったと聞くと、少し羨ましいと思うこともあるが、自分は岩手でいいかなと思っている。

#### 【回答：岡本さん】

岩手に残ろうと思った理由は、家が好きだからである。姉と兄がいるが、私が小学校入る前に都会に出てしまい、ほぼ一人っ子のように育ってきた。家を継ぐではないが、将来的に親の面倒をみることを考え、自分が出て行ってはいけないと、幼いながらも思っていた。祖母がおり、おばちゃんっ子でもあり、傍にいたいというのもあった。幼いころから野山を駆け回るのが好きで、都会よりは、岩手の自然の中で、好き勝手過ごしたほうが良いと思い、岩手に残った。

私が会社を決めた理由は、今の介護現場は、ユニットケアという個人を尊重するという介護に変わってきていることである。以前は、従来型といって、病院のように大部屋で、4人が一緒に暮らしているという所が多かったが、私が勤めている施設は、ユニットケアを進めている施設である。ユニットケアというのは、個人個人に部屋が与えられており、一つのユニットに10個の部屋があり、部屋は別々で、ご飯を食べるリビングは一緒という形で共同生活をしている。従来型だとカーテンでしきられているだけで、個人の時間を優先できないことや、例えば、この時間になったらご飯、この時間になったらオムツ交換というように、時間が施設で決められており、職員の都合で仕事をしている場合がある。ユニットケアだと自分の個室があつて、リビングがあつて、自分の過ごしたいように一日を過ごしていく。私も、決められた時間で過ごすよりは、利用者さんにも、好きな時間に起きてきて、ごはん食べてと自分で好きなように過ごしてもらって、自分がそれにお手伝いできればいいなと思い、現在の職場に決めた。他にもユニットケアの施設はあつたが、早番があり、早起きが苦手だったので、家の近くでできるユニットケアの施設が良いと思い、今の施設を選んだ。

今の職場で良かったと思うことは、地元の厨川にある職場で、入ってくる利用者が、盛岡の出身か、遠くでも滝沢といったご近所の方が多い。お話ししていると、高齢者なので方言が多く、利用者さんがポロっと方言を言った時に「あ～、なんとかね。」とわかりあえて話せることで、利用者さんから「お前、わかるのか。」といわれて、利用者との話が盛り上がるといったことが楽

しく、やりがいを感じる。

都会に出て行っても、都会から盛岡に戻ってきて仕事をしている人もいる。都会に行きたくて、岩手の専門学校を出てから、東京に行く子もいる。そういう子から、何の連絡もなく突然ディズニーランドに行ったお土産が段ボールで送られてきたことがあり、近場にディズニーランドがあっていいなと思ったことがある。テレビで紹介されている美味しい物が、都会でしか売られていなかったりすると羨ましいなと思う。

#### 〔回答：鎌滝さん〕

県外に住んだことがなく、育った所で就職したいと思った。就職活動している時、入りたい所に入りたいと思った。学生時代はIT系を学んでいたが、自分がIT系の会社に就職して、座ってパソコン叩いて仕事をしているところが想像できなかった。何をしたいか考えた時、ビールが好きだったため、求人はしていなかったが入りたいと伝えて入社した。

会社に入って良かったことは、みんな同じ志を持って入っており、仲が良く団結力があり、毎日仕事をしていて楽しいことである。給料の面だと、東京にいる友達の中には、自分の倍近く貰っている人もいる。給料の話をしていると、いいなと思うこともあるが、自分は仕事を楽しいと思って働いているので、この会社に入って良かったと思っている。

#### 〔回答：高橋さん〕

幼い頃から、祖父母から家を継げと言われていた。高橋家は私で10代目であり、将来農地を継ぐため、秋田県にある短大に通い、大瀨村で大規模経営の農業を学んだ。最初は、弘前で学びたいと思ったが、父に、秋田の方が耕地面積が広く、大規模経営をしているからそれを学んだ方が良いと言われて。秋田から帰ってきてから、中央卸売市場に勤めたが、自分のやりたいことが見つからず、うまくマッチングできずに8か月で退社した。学生時代にスノーボードをやっている、スキー場に憧れがあったため、中央卸売市場を辞めた日に採用面接のお願いをして、そこからひと冬スキー場で働いた。雪が溶けた頃、本当にここでよいのかなと思っていた時に、森林組合の求人を見つけた。体を鍛えるのが趣味だったので、木こりってかっこいいなという軽い気持ちで採用面接を受けたが、木材の話色々聞かれ、短大の時に木材の建材についても少し専攻していたことから面接官と話が盛り上がり、入社することができた。

木材の方を最初やると思っていたが、現場でとりあえず働けと言われ、チェーンソーを預けられた。チェーンソーとお弁当と油を担ぐと20キロになるが、毎日担いで鞍掛山の頂上まで行って作業した。3カ月程行き、鞍掛山の登山道の左側は、カラマツを列状間伐して私たちのチームが広葉樹を植林した。

林業をやっている良かったと思うのは、すぐ結果は出ないが、自分の子ども達や、孫達が、山に行ったときに、うちの父親や祖父が植えたといった話に繋がると思うと、今の仕事にやりがいを感じる。外山森林公園の仕事は、次の世代に繋ぐためにやっている。藪川地域は高齢化が進んでいるので、地域をどうにかしなきゃいけないということも念頭におきながら活動できるのが、今の楽しみである。なんとなく好きなことをやってきたが、結果、今の森林組合に就職して良かったなと思う。幼いころから大学生までボーイスカウトをやっており、キャンプが好きだったというのも今の仕事に結びついたと思う。

都会については魅力は感じないが、産地としてきのこ栽培をしている、大分県や静岡県には興味がある。それは、純粹にキノコへの探究心である。もし都会でキノコがたくさん採れれば魅力を感じるかもしれないが、今のところは、岩手の方が断然キノコがとれるので、今後も岩手で頑張りたいと思う。

**〔回答：佐々木さん〕**

今の仕事の前は、箱根の山の中で、宿泊業の接客をしていた。自分の肌に合う人口密度が盛岡くらいであった。箱根は山ではあったが、小田原から都会に出るための電車に乗るのに徒歩5分なので、東京には休みの度に遊びに行っていたが、住むには合わないと感じた。箱根も観光地としては良いが、やはり温泉街なので、物もあまり売っておらず、コンビニも夜9時に閉まっていた。大学まではずっと地元で進学をして、法律の勉強をしていた。在学中に司法の資格を取れず、勉強しながら資格に関する仕事をということで、就職活動というものをしなかった。試験に受からず、一度地元に戻って、次は何をしようと考えていた時に、今の職場の求人があり、倍率が高かったが勉強していた内容を今の上司に伝え、接客の経験も考慮して頂き、採用されて今の仕事についている。

箱根にいたときに東京にも行ったが、東京という街は自分に合わない。ディズニーランドへ旅行に行く人もいると思うが、私は江の島によく遊びに行っていた。神奈川県は西側はのどかで、人口密度が丁度良かったので遊びに行っていた。

**○ハクセル美穂子議員**

皆さんは岩手が好きで、良い点がそれぞれにあったから、岩手に残ってくださって、今働いてらっしゃる、または来てくださったと思う。私は皆さんと少し世代が違うので、今の20歳前後の方に岩手の良さをアピールする際に、どこをアピールすれば食いついてくる人がいるかを聞きたい。東京が好きなのは東京好きでいいのだが、東京や関東にいる方の中にも、実は盛岡ファンになる潜在能力をもった人がいると思う。一回東京に行った方にも、どういうふうに岩手の良さをアピールしたら良いか、今の若い20代や30代の方に刺さるポイントはどこなのかを聞きたい。

**〔回答：皆川さん〕**

他県を見てこれが良いと思って、無いものを岩手に作ってもしょうがないなと正直思う。大きいレジャーランドを作って、さあ来るぞというわけでも無いと思う。岩手にあるもので考えると、私は花巻に住んでおり、実家は花巻南温泉郷、花巻温泉郷に車で10分もかからない場所にある。家のお風呂に入るより、温泉に入っている方が多いのではないかといいくらいよく温泉に行く。どちらかという、大きいホテルや名前が知られている所が岩手では有名だよねと言われるが、実はもっと小さいところにも、お湯が良い所がたくさんある。あまり知られても困るが、そういったところをどうにかアピールして欲しいと思う。

**〔回答：豊間根さん〕**

私の実感として、都会よりもガツガツしてないという点がある。向こうで生活して、疲れたという人が意外という聞く。向こうの出身でも、東北やこちらの大学で学んで関東に戻った人も、学生時代ののどかな感じが良かったとかいうこともあるようである。選択肢は、おそらく都会の方が多と思うが、岩手は、業種によっては人員が不足しているというよく聞くので、絶対にこうというわけではないが、割と自分のペースで、仕事ができる地域性なのではないかと思う。

**〔回答：高杉さん〕**

岩手の良いところは、平和で、のどかで過ごしやすいというところ。食べ物が美味しい。特に私は海の幸が好きだが、都会だと味わえない獲れたての美味しさや、山の幸、冷麺もすごく美味しいので、そこでどうにかこちらに連れて来れないかなと思う。

**〔回答：岡本さん〕**

宮城県の大学に行って戻ってきた友達から、宮城県の人を悪く言うわけでは無いが、岩手の人と比べると少し冷たい感じがするという話を聞いたことがある。人の温かさというところが強いと思う。家が山の中にあるので、夜にカモシカ等が出ることもある。動物園でしか会えないような野生動物と会える機会もあるので、動物が好きな人にはアピールできるのではないかなと思う。

**〔回答：鎌滝さん〕**

美味しいビールがあるよ、とまず言いたい。最近、若者のビール離れが顕著なので、美味しいビールがあるので一回来て飲んでみてと言いたい。さきほどの人口密度の話もあったが、本当に丁度良い町だと思う。丁度良い町で、美味しいビールがあるよ、と言いたい。

**〔回答：高橋さん〕**

ここ最近感じるのは、車を持っていない若い方が多く、車をシェアする方もいるくらいなので、バスとか電車とかの便がちょっと良くなれば、車離れの人達が岩手に来ても、苦勞せずに暮らせ、人が集まるのではないかな。外山森林公園は、どう頑張っても急いでも午前10時30分位にしか着かない。午後だと午後1時位で、バスは1日2本なので、もう少し便が良くなってくれば観光客にも良いと思う。バスの旅もブームなので、乗り継ぎを良くするよう働きかけてもいいのではないかなと思う。

どうしても言いたいの、きのこ大祭である。九州の福岡市が発祥で、横浜市、長野市でも大祭が行われている。現在、鳥取や岡山でも動きがあるようで、横浜市に関しては、年2回開催されている。東北では、行われていない。東北の人はキノコ好きが多く、女性が行く雑貨屋ではキノコ柄も多くあり、柄の中でも人気がある。そういったことで若い女性も集客可能だと思う。岩手は、まつたけの産地でもあるが、キノコだけではなく、大きくカテゴリとして菌類の観光イベント等を開催してみると、発酵食品、例えばベアレンさんのようなビールや日本酒といったオール菌類で組んでみてもおもしろいと思う。

**〔回答：佐々木さん〕**

岩手は海も山もしっかりあって、お米も美味しい。日本酒もあり、それに伴う食材もある。食のイベントや、食をアピールすると興味をたくさん持ってもらえるのではないかなと思う。

同じような都市規模のところと比べると、電車等の交通の便、アクセスが悪く、乗継がなかなか難しいと感じている。個人的に青春18きっぷを使うが、東北本線が1時間30分毎に降りなければいけないという感覚がある。本数が少なくても、盛岡で降り、田沢湖線に上手く乗継ができるようになると、動きやすいと思う。

**○吉田敬子議員**

私も、どちらかというと憧れで大学の時に岩手を出て東京に行き、アフター5等では遊ぶところも食べるところも東京はすごいと思っていた。逆に出たからこそ、岩手に戻ってきたら、年を重ねるにつれてかもしれないが、本当においしい物が岩手にたくさんあるということ知った。

先ほど高橋さんからアウトドアが好きという話があったが、私も小さい頃から山は好きだったけれども、20代後半から改めて良さに気付いた。皆さんは、プライベートの余暇にどういうことをして過ごしているか伺いたい。

また、皆さんも結婚や子育てについて考えていると思うが、ずっと仕事を続けていく中で今の職場だと働きやすいのか、あるいは働きにくいのかといったことを考える時もあると思う。こうなればもっと良くなると思ったことがあれば、簡単に教えて頂きたい。

**〔回答：皆川さん〕**

働くようになり、自分のやりたいことをやれるようになったのは大きい。欲しい物を買えるようになり、趣味のカメラに大きく出費している。撮るところも多くあり、主に景色を撮ったりすることで、余暇には気分転換をしている。

結婚はできることならしたいが、出会いが無い。理想が高いと言われてしまうとそれまでだが、仕事も続けたい。でも、結婚したいとなった時に、例えば相手が非正規だと私は養えるのかとか考えてしまい、いろいろ考えているうちにどんどん周囲の友達が結婚していく。結婚はしたいが、出会いとタイミングがちょっとつかめずにおり、タイムリミットを決めなくてはいけないと思っではいるが、なあなあと過ごしている。同期でも、そういう子はある。先輩の中には、結婚を機に辞めてしまう人がいるのも現状である。

**〔回答：豊間根さん〕**

余暇の過ごし方については、私は元々盛岡の出身ではなく、山田町に住んでいた。正直、高校の時は遊ぶところが無いと思っていた。盛岡に就職し、インドアなのであまり外に出ることがなかったが、盛岡には映画館が多く、せっかく盛岡に住んでいるので行ってみようと思い、映画館に通うようになった。割と充実しているというか、岩手なりの楽しみ方もあるのかなと思い、余暇を過ごしている。

結婚と子育てについては、出会いがなかなか無いと実感している。会社も女性が多い。仕事終わりに飲みに行くことについては、他の企業の方より遅く終わることが多く、休みが合わないこともあってなかなか難しい。自分から出会いを探しに街コンに行くこともあるが、場数も少ないのでなんとも言えないが、そうそう上手くはいかない。結婚して、子育てをする時に、今の職場は働きやすいと思う。時短の制度もしっかりしており、子育てをしながら働いている先輩もたくさんいる。自分は、そこに至るまでになかなか辿りつけないというのが現状である。

**〔回答：高杉さん〕**

プライベートは割とインドア派なので、疲れを癒すために寝ていることが多く、部屋の掃除をしたりすることが多い。2か月に1回は温泉に行ったりして、リラックスするというのが私のプライベートの過ごし方である。

結婚、子育てについては、会社もそういった社員が多いので、時間を決めて退社できる制度もある。ホテル業なのでなかなか疲れる仕事が多く、自分がもしその立場になった時、仕事をしただけに帰ってから、ごはんを作って洗濯もするととなると、難しいのではないかと不安だというのが正直なところである。

**〔回答：岡本さん〕**

余暇については、昔はアウトドア派だったが、今の仕事を始めてから日々が肉体労働で、利用者さんを持ち上げたり、お風呂に入れるのを手伝ったりと、一日中動きまわり、体を使っているため、休日になると家にこもって撮りためているドラマを見ている。ストレス発散のため、友達とカラオケに行くこともある。遠くに遊びに行くとかは一年に一回あるかどうかだが、家でゴロゴロするのも家が好きなので楽しい。

結婚と子育てに関しては、職場は女性職員が多く、出会いが無い。時短制度もあるが、勤務が早番、夜勤、遅番と時間がバラバラで、子どもを持ちながらだと難しい。小さい子どもがいる方だと、急遽子どもが熱を出して休むとなると、穴が開くことになり、その日の職員の一人あたりの仕事量が増えてしまい、他の人に迷惑がかかって申し訳ないと思う気持ちになってしまう。

介護の仕事をしながら子育てしている方は、他の職員に負担かけて申し訳ないと思いながら働いている方が多い。そういうところが無くなって、子育てしながらでも、介護しやすい現場が増えればいいのかと思う。介護の現場は給料が少ないので、上げるには利用者さんから頂くお金をあげなければいけないという現状もある。子育てをしながら、給料が低く大変な仕事をするとなると、結婚や子育ては難しいと思う。

**【回答：鎌滝さん】**

余暇には、友達や会社の人と飲んでいることが多い。シフト休が多く、平日休みがある。その際は、運転するのが好きで、遠出に行くこともある。

結婚するにはお金が必要になってくると思うので、今少しずつ貯金はしている。貯金次第でしたいと思う。

**【回答：高橋さん】**

余暇にはキノコを探しているが、それはさておき、息子と遊ぶことがストレス解消である。家内が介護職をしており、一緒に出掛けるのは、年に一回約束の行事があるが、あとはすれちがいである。寝ている姿はよく見るが、起きている姿は一週間見なかったということもある。介護に従事している人の大変さはよくわかっている。

結婚を考えたとき、夫婦二人では子どもを養っていけないなと考えていた。家内が一人っ子というのもあり、お互いの両親をみていくということを考えると、どちらかの家に住んだ方が出費を抑えられ、子どもの面倒も見てもらえるなというのもあった。また、子どもは大家族で育てた方が、色々な可能性がでるのかなと思う。二人だとストレスが溜まり、つつい言ってしまうこともあると思う。そういったことを、友達のお父さんやお母さんから聞いていたので、結婚するならば最初から同居してもいいと言ってくれる人を探した。今はお互い仕事をしているので、私の父母が息子の送り迎えをしたり、ごはんを食べさせてくれたりしている。食事は母が作ってくれている。

**【回答：佐々木さん】**

仕事が時間通りに終わることが多いので、平日はフィットネスクラブに行ってから、クラブ活動をしたりということが多い。スケジュール帳をみると、平日の欄がびっちりということもある。

結婚したいとは考えているが、土曜日の盛岡の街コンに、沿岸部とか山間部の方が参加している時、平日の夜の過ごし方について話が合わない。普段は何をしているかというのが話の中で出るのだが、やりすぎ感があって引かれてしまうこともある。また、日々の業務において、結婚の終わりを扱うことも多いので、フィルターがかかってしまうところもあると思っている。職場の制度としては、育児休暇も出産のための休暇も、福利厚生として用意されているので、そういった機会があれば利用したいと考えている。

**○阿部盛重議員**

皆さんはプロ意識が高いと思う。プロ意識を身に着ける前に、入社してから、ちょっと違うのではないかと感じたところもあったと思うが、そこをクリアし、成長したから、今があると思う。皆さんが、今勤めているところを背負っていくことになるのも事実だし、これから後継の方々を育てていかなければならない。自分が感じたギャップに対してどのように克服したのかということと、今勤めている企業に対して、こう改善すればより一層飛躍できるのではないかと考えていることについて教えて欲しい。

**〔回答：岡本さん〕**

ギャップについては、私は介護をやるにあたり、大変で給料も低いということは元々聞いており、そのことを理解した上でこの仕事をやりたいと思い入社した。この仕事がやりたいと思って入った子でなければ、介護は続けていけないと思う。大学を落ちて、介護の専門学校に入って、なんとなく介護の職に就いたが、ちょっと違うと感じて辞めていく子が多い。

**○阿部盛重議員**

思ったような働き方ができないときに、人間は非常に苦しくなり、そこから逃げてしまうのが9割いる。ただ、その9割が、また大きく成長して、素晴らしい人間になっていく。自分が経験した苦しいことは、後輩もまた同じように経験する。

ある企業において、新しい部署を作ることになり、この仕事が好きな人は集まりなさいと募集をかけたところ、たくさん人が集まった部署があったという。そこでは、皆仕事が好きなので勤務時間は関係なく、夜中、朝方まで仕事して急成長し、売上げを伸ばしたというような例もある。

いずれ、皆さんが企業を背負う方々になることは事実だ。個々の業務でいえば、法律事務所は岩手県にたくさんあるが、東京の法律事務所が介入してくる中で、岩手の法律事務所はどのように経営をしていくのかというようなことが各分野でもあると思うが、大きなギャップをどのように克服し、後世に生かしつつ、どのように成長させていくのかというところを聞きたい。

**〔回答：豊間根さん〕**

地方の百貨店の現状というのは、どこも厳しい。仙台でも有名どころが無くなったとか、東北に限らず地方は難しい状況にきている、といったことがいろいろなところから耳に入るし、実感もしている。この地域だからできること、地域でしかできないサービスが絶対あると思う。弊社でも店舗を増やしており、大船渡と盛岡駅前に各1店舗増える。試行錯誤しているが、その中でどうしていくか。人が少ない中でどうしていくかは、模索中の印象がある。手探りしながら働いている人が多いような感覚がある。どうやっていけるかということまでは、簡単にはこうすればいいのではないかと、ということはいえない。

**○阿部盛重議員**

私の息子もファッションが好きで勤めているが、普段の業務以外の時はその分野を幅広く研究している。日本だけでなく世界に広がっている中で、日本と世界が競合するようなものについてミックスした戦略を組んでいくというような感じでやっている。盛岡や岩手だけを見ては、視野が狭くなってってしまう。お休みの時は疲れていることもあると思うが、幅広く考えていくと楽しくなると思うので、頑張ってもらいたい。

**○田村勝則議員**

今日のテーマは、若者がやりがいを持って働くことのできる雇用環境の整備についてだが、皆さんは、それぞれの職場でやりがいや生きがいを感じながら頑張っていると思う。具体的には、給料を上げて欲しいとか休みを増やして欲しいといったことがあると思うが、この場では言いにくいこともあるだろう。先ほど課題をお聞きした中で、出会いの場が必要だとの話もあり、我々もそう思った。今の立場から皆さんが、これから岩手県がこういうところにお金を使って頂ければ、我々はもっと幸せになれる、仕事ができるということがあれば教えて頂きたい。

**〔回答：高橋さん〕**

森林税の使い道が狭いと感じる。せつかく財源があるので、山の整備だけでなく、森林に来る

方、見る方、そういうところに多目的に予算を配分して頂けないかなと考えている。

また、耐火性の高い木材もあるので、小学校、中学校の建て替えや、駅舎等を新しく建てる時は木造にするなど、木材を活用頂きたい。また、岩手県は森林王国でもあるので、皆さんには、もっともっと木材需要の高まりを目に見える形で押し進めて頂きたい。

これから結婚される方々が住宅を建てる時に、岩手県内に岩手県産の木材で建てることで補助等の優遇が受けられれば、もっと新築戸数も増えるでしょうし、岩手の木も使われ、森林業界だけでなく、工務店、これから住む方々、まちの新しい開発に結びつくのかなと感じている。

## ◆ 感想など

### ○佐々木宣和座長

最後に、皆様から本日の意見交換会について御感想をいただきたい。

#### 〔回答：皆川さん〕

悩んでいるのは私だけでなく、どこの業種でも、根本的な悩みというのは一緒だということを感じた。自分がこれからを担っていけるかどうか不安だが、女性の立場で働くことの課題点等を感じることもできた。すぐにはできないかもしれないが、ゆくゆくは活かしていきたいと思う。

#### 〔回答：豊間根さん〕

皆さんの話を聞く前は、雇用環境や自分が今後どう生活していくかということについて、かなり不安な部分が多く、ネガティブに考えることが多かった。これからどうしよう、先行きが見えないけどどうしようという気持ちが強かった。今日、皆さんの話を聞いて、そう思っているのが自分だけではないなと思った。ポジティブな考え方も、こういうふうに捉えられるのだといういろいろヒントも頂けた。これから自分が岩手で生活していく上で、もっと気持ちを前向きにしていけるようなお話を聞けたので良かった。

#### 〔回答：高杉さん〕

私も自分の仕事だけになっていた時があった。様々な業種で、いろいろなもの見方があるということを実感した。今日のテーマを書面で頂いた時、難しいテーマだと思っていたが、滅多にご一緒できない議員の方々が若者の意見に耳を傾けてくださって、楽しい時間を過ごすことができた。

#### 〔回答：岡本さん〕

正直な感想は、ここに来る前は何を話せばいいのか、上手く話せるか凄く不安だった。皆さんフレンドリーで笑いもあり、リラックスして話すことができた。この話を頂いたときに、上司からいろいろ話して来いと言われたが、正直上手く話せているか不安な部分もあったが、自分の思っていることを話せた。私だけではなく、他の職種の方からも、今抱えている不安や、どのような仕事をしているのかを幅広い職種の方から聞くことができ、皆困っていることや不安なことは同じだと安心した部分もあった。また、話をしている中で、サブリーダーという役職を与えてもらっているが、介護は職場離れが進んでいるので、新人の育成や若者をどうつなぎ留めていくのかをもっと考えていかななくてはいけないと感じた。

#### 〔回答：鎌滝さん〕

会社からこういう会があるから行って来いと言われ、聞いた時は「えっ」と思ったが、参加させて頂いて、議員の方々と話す機会は無いことなので、とても貴重な時間を頂き、良い経験をす

ることができた。また、違った業種の方の意見も聞くことができたので、会社に戻ってから、こういう話があったと共有したいと思う。

**【回答：高橋さん】**

公文書にキノコと載ったことがうれしい。話を頂いたときは一つ返事で引き受けた。林業は賃金も安く、危ない仕事も多いので、林業を目指す若者はほとんどいない。求人を出しても50、60代が多い。海外を見ると、林業をするのが憧れの職業と考えている地域もヨーロッパにはある。そういうところに岩手県もなってくればいいなと思う。今年、いわて林業アカデミーが開校した。若い人達が、少しずつ入ってきている。そういう人達に、今まで経験したことを伝え、より若い人達が自由な発想で取り組んでもらえるよう、陰ながら応援したいと強く感じた。異業種の皆さんと交流することで、キノコについての創造がより深まった。

**【回答：佐々木さん】**

ここに来るまでは、どういった内容で話すか悩んでいたが、このお話を頂いた盛岡市中央通勤労青少年ホームからは、いろいろやっている普段のことを話せばいいと言われた。それを伝えられたこと、皆さんの業務の状況や、余暇の状況などを共有できたことは、とても参考になって良かったと思う。これからの自分に活かしていきたい。

**◆ 閉会**

**○佐々木宣和座長**

現場の様々の声を頂くことができまして、心から感謝申し上げます。結婚の話もあったが、私も結婚しないと一丁前ではないと話をされる。それが全部正しいとか、別にしなくて良いとか、それなりに自分で考えて生活すればいいとかいろいろな考え方があるが、一番の問題は、世代間で意識がちよっとずつ違うということである。岩手県全体を発展させていくためには、その世代間のズレを是正していくことが重要だと考える。冒頭にも申し上げたが、本日頂戴した御意見、御提言については県議会の全議員で情報を共有し、これからの議員活動に活かしていく。今後、御意見・御要望があれば、地元の県議会議員あるいは県議会事務局までお寄せいただきたい。

本日は、お忙しいところ、御参加いただき誠に感謝申し上げます。